資料№121

社会教育部 スポーツ振興課

健康福祉部 障害福祉課

東京オリンピック・パラリンピック応援事業の概要

1　宝塚市民大運動会「東京2020オリンピック・パラリンピック大会記念」について

令和2年度(2020年度)は7月24日がスポーツの日とされ、10月の体育の日が前倒しになることから、市民大運動会の開催においても東京2020オリンピック・パラリンピック大会の機運醸成を図るため下記の内容で実施する。

（1）　大会開催日及び場所　　令和2年5月31日(日)　スポーツセンター(メインアリーナ)

（2）　イベント内容

ア　東京オリンピック・パラリンピック大会に出場される選手から市民に向けたビデオメッセージを作成し、会場内において披露する。

イ　会場内にて市民の皆さんから選手に向けた応援メッセージを寄せ書きしてもらい、選手に届ける。

ウ　聖火リレー兵庫県実行委員会において、宝塚市ゆかりの聖火ランナーとして、公募選出された方を招待し、5月25日に参加予定の聖火リレーの体験談や使用された聖火トーチを参加者に披露していただく。

エ　障碍(がい)者を交えたスポーツ体験会を企画する。

2　パブリックビューイングについて

本市ゆかりの選手の活躍を市民が一緒に応援できるようパブリックビューイングを下記の内容で実施する。

（1）　開催場所　　放映期間中、ソリオホール又は中央公民館ホールで開催。

（2）　放映期間　　出場選手と放映スケジュールが確定後調整する。

(3/1現在　内定選手2名)

パラリンピック採火式&聖火ビジットの開催について

1　事業概要

「パラリンピックを応援するすべての熱意が一つに」

各市町村で採火した火を都道府県へ送り込む。それらは東京で集まり１つの炎へと統合され「東京2020パラリンピック聖火」が誕生する。

本市の火の名称「人と人をつなぐ宝の火」

2　日程・場所・内容

（1）　採火式（各自治体それぞれの共生社会への思いが込められた火を独自の手法にて採火）

令和２年８月15日（土）障碍（がい）者スポーツ体験会（スポーツセンターサブアリーナ）

採火式の開催

※パラスポーツの選手や指導者を集め功績などを紹介

※パラスポーツ選手から選抜でダリアのキャンドルへ点火

（2）　聖火ビジット（ランタンに火を灯し展示）

令和２年８月16日（日）スポーツセンター

令和２年８月17日（月）市役所　市民ホール